



# 平安だより

平安幼稚園  
2022年4月

## 『初めに、神は天地を創造された。』（創世記一章一節）

「新しい出会いを大切に」

牧師・園長 江間紗綾香

新年度が始まりました。年少、年中だった子供たちは、一つずつお兄さん、お姉さんになりました。子供たちをはじめ、保護者の皆様も嬉しい気持ちと不安な気持ちが入り混じりながら過ごしているのではないのでしょうか。幼稚園では、それぞれの子供らしく、またそれぞれの学年らしくスタートすることができればいいなと思いつつ先生方が準備をしています。「年長、年中になったから」「幼稚園に入ったのだから」と気負わず、まずは楽しい日々を送ることができるよう、保護者の皆様と共に子供たちを支えていきたいと願っています。

さて、幼稚園では3月に卒園式を行い、年長34名を送り出しました。そして4月からは18名の小さなお友達を迎え入れます。年長から年少まで、この子供たちで過ごすことができるのは今年度の1年間だけです。一期一会。二度とは巡ってこない出会いを大切にしてほしいものです。何より、この子供たちと共に過ごす園生活がどのように彩られていくのかとても楽しみにしています。

平安幼稚園では、キリスト教の教えを保育の土台としています。神様に愛されていることを知り、自分と他者とを大切にすることができるようにと毎日の礼拝や月1回の聖話を行っております。また、毎月子供たちが覚える聖書の言葉があります。4月は創世記1章1節で、聖書の最初の言葉になります。聖書のはじめには、神様がこの世界を創られた様子が書かれています。6日間かけて天と地、海、天体、植物や動物を創ります。6日目には人間も創られました。神様は創られたものを見て、「極めて良かった」と祝福します。そして7日目に神様は安息され(休まれ)ます。人間の目から見ると欠けているように思えるものがあるかもしれません。また、私たちはつい自分や他人の短所に目がいきがちです。しかし、神様にとっては一人一人、一つ一つが良いものであり、かけがえのない愛すべき存在なのです。このことは保育をする上でもとても大事であると考えております。私たち教職員一同、神様が愛する子供たちを託されたことを、目の前の子供たちがかけがえのない愛すべき存在であることを忘れずに、日々の保育を心がけていきたいと思っています。

4月からも with コロナの生活に変わりないとは思いますが、新しい指針をもとに豊かな園生活を過ごしていきたいと考えております。そのためには、お子様たちの健康が第一です。ご家庭におきましては、引き続きお子様の健康観察(検温等)をお願いいたします。園でも安心して過ごせるよう、教職員の健康管理はもちろんのこと、お部屋の消毒など感染対策に心を配っていく所存です。今年度もご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。